



2026年6月25日

各位

会社名 信和株式会社  
代表者名 代表取締役 則武 栗夫  
コード番号：3447  
(東証スタンダード市場・名証プレミアム市場)  
問合せ先 常務取締役 執行役員 平澤 光良  
(TEL. 0584-66-4436)

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社グループは、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すコーポレートガバナンス強化の一環として、事業年度毎に取締役会全体の実効性等の分析・評価を行い、その改善に向けた継続的な施策推進に取り組んでおります。

この度、2026年3月期における当社取締役会の実効性評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

### (1) 評価のプロセス

取締役会事務局が主体となって取締役会の実効性に関する調査を実施しました。その集計結果をもとに、取締役会において取締役会の実効性等の分析及び評価を行い、改善に向けた施策を決定いたしました。

### (2) 評価の方法

#### ① アンケート調査の実施

取締役会メンバーである取締役（監査等委員である取締役を含む）を対象として、以下の評価カテゴリ毎に複数の項目からなるアンケートを実施し、回答を得ました。

対象者	取締役
回答方式	無記名方式
回答項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・取締役の構成、運営、議論、モニタリング機能</li><li>・社内取締役及び社外取締役のパフォーマンス</li><li>・取締役に対する支援体制</li><li>・トレーニング</li><li>・株主（投資家）との対話</li><li>・自身の取り組み等</li></ul>
結果の集計	アンケートは、取締役会事務局が集計し、取締役インタビューに利用した他、その結果を基に取締役会において実効性等の分析及び評価に活用しました。

#### ② 取締役会での議論と改善に向けた取り組みの決定

アンケートの結果に基づき、取締役会事務局が取締役会の運営について実効性が高いと評価される点、改善・充実に向けた取り組みが期待される点を整理し、取締役会に付議しました。

取締役会では付議内容について審議し、取締役会の一層の機能強化と実効性向上に向けた課題を抽出し、改善・充実のための取り組みを決定いたしました。

### (3) 2026年3月期の実効性評価結果の概要

アンケートの結果、取締役会は全体として「概ね適切」に運営され、「実効性は確保されている」と評価しております。

その一方で、下記(4)に記載した事項については継続して改善を図るべきこと、及び(5)に記載した事項については、今後の取り組みとして、更なる改善を期待する建設的な意見がありました。

### (4) 2026年3月期の課題と取り組み

昨年度は、以下の課題に向けて取り組んでまいりました。

#### ① 経営戦略・経営計画につき収益力・資本効率等を意識した審議及び、持続的成長・企業価値創出との整合性についての議論

当社取締役会は、中長期的な企業価値向上に向けてコア事業の新たな価値創造やM&Aに関する議論及び審議を重ね、資本コストを上回る効果が期待できる分野への投資を実施してまいりました。今後も引き続き、収益力・資本効率等を意識した企業戦略の方向性と施策の効果に関する議論の充実に取り組んでまいります。

#### ② ESG・SDGs等サステナビリティ向上への取り組み・開示についての十分な議論の実施

昨年度は、コストダウンと業務効率化を念頭に置いた組織体制の見直しと、それに対応する人員再配置により、長期的に持続可能な業務運営体制への移行を議論してまいりました。あわせて、DX推進についても、執行部門での取り組み状況を踏まえつつ、取締役会としての監督機能をより発揮できるよう、今後も重要な検討課題として取り扱ってまいります。

#### ③ 人材育成を含む人的資本に関する課題についての議論の実施

昨年度は、従業員の能力発揮を支える基盤づくりの一環として、社内コミュニケーションの活性化や相互理解の促進に資する取り組みを進めるとともに、業務遂行に必要なシステムリテラシーの向上に向けた対応を行ってまいりました。今後は、こうした取り組みを通じて得られた課題認識も踏まえながら、人材育成の充実に組織力の向上に向けた施策の検討を進めてまいります。

#### ④ グループガバナンスの向上に関する議論の実施

昨年度は、グループ全体の内部統制、子会社管理及び事業運営の適切性について議論を行い、ガバナンス機能の整備に努めてまいりました。今後も、グループ一体での経営管理の実効性向上に向けて、監督・モニタリングの充実に取り組んでまいります。

### (5) 今後の取り組み

当社取締役会は、引き続き以下の課題について、さらなる実効性向上のために必要な取り組みを実施し、改善に努めてまいります。

#### ① 取締役会資料の事前提供及び情報提供方法の充実

#### ② 自由闊達で建設的な議論の一層の促進

#### ③ 人材育成を含む人的資本に関する課題についての議論の実施

#### ④ グループガバナンスの向上に関する議論の実施

なお、取締役会の実効性評価につきましては、今後も継続的に実施し、評価の枠組みや評価手法の更なる改善に向けても検討を進めてまいります。

以上